

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	利用者様の高齢化・重度化に対応できる知識・技術を習得し、安心して暮らせる体制整備の強化。	徐々に利用者様の認知症が進み、体も動かなくなる中で、職員は自立支援を心がけながら、適切な援助が行える力をつける。介護のプロという自覚を持ち、自主的に学ぶ姿勢を身につける。	毎月テーマを決めて勉強会を行う。専門知識を持つ職員、同敷地内の介護老人保健施設のリハビリ職員等の協力を得ながら、実践的な技術習得を図る。疑問点、不安点をそのままにせず、互いに聞き合い、教え合える関係作りに努める。	6ヶ月
2	38	利用者様が望む暮らし方の継続。個別ケアの実施。利用者様が主役であるという意識付け。	利用者様おひとりおひとりに向き合い、本人の声に耳を傾け、笑顔を引き出せる関係作り。	利用者様のこれまでの人生や生活リズムを理解し、尊重する。施設や職員の都合を押し付けない。それぞれが喜びや生きがいを感じて暮らせる毎日にする。生活歴や過去の暮らしをもとに、情報収集を継続して行う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。